

第二十章 地域医療プログラム

1. 臨床研修協力施設の名称 むかわ町国民健康保険穂別診療所

2. 目標 (GIO:General Instructional Objectives)

研修医が、将来の診療や連携に役立てることができるようになるために、地域におけるプライマリ・ケア、保健・福祉との連携、チーム医療を経験し、患者様を全人格的にみるための知識・技能・態度を身につける。

3. 行動目標 (SBOs:Special Behavioral Objectives)

- (1) むかわ町の人口統計や地勢の概要を説明できる。
 - ・町内施設の見学、統計資料を用いた学習。
- (2) むかわ町国民健康保険穂別診療所および保健・福祉センターの組織の概要と目的を説明できる。
 - ・町内施設の見学、統計資料を用いた学習。
- (3) 地域におけるかかりつけ医の役割、プライマリ・ケアの大切さを説明できる。
 - ・各種資料を用いたミニレクチャー。
- (4) 介護保険について概要を理解し、主治医意見書を作成できる。
 - ・各種資料を用いたミニレクチャー。
 - ・医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討会。
- (5) チーム医療、各職種との連携のため良好なコミュニケーションがとれる。
 - ・医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討会。
- (6) 地域の医療・福祉資源をよく理解し、問題解決のため各機関と相談、協力ができる。
 - ・医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討会。
- (7) 全人的医療について理解し、実践できる。
 - ・医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討会。
 - ・各種資料を用いたミニレクチャー。
- (8) 慢性疾患の外来管理を指導医のもと実施できる。
 - ・担当医師と外来診療に参加。
- (9) 健康維持に大切な患者教育（食生活、運動、禁煙）が行える。
 - ・保健師とともに各種健康教室に参加。
- (10) 各種予防接種について理解し、実施できる。

- ・担当医師と予防接種外来に参加。
- (11) 在宅医療を指導医のもと実施できる。
 - ・担当医師、訪問看護師と在宅医療に参加。
- (12) 健診業務を実施できる。
 - ・担当医師、保健師と健診業務に参加。
- (13) 介護施設の活動に参加し、経験を具体的に述べるができる。
 - ・担当医師と特養回診に参加。

4. 研修評価

行動目標	目的	内容	評価時期	評価方法
(1)(2)	形成的評価	知識	オリエンテーション 終了後	口頭試問
(3)(4)	形成的評価	知識	ミニレクチャー終了後	口頭試問
(4)	形成的評価	知識・技能	研修中	意見書を 記載
(5)(6)	形成的評価	技能・態度	各実習中 カンファレンス時	観察記録
(7)(8)	形成的評価	知識・技能・態度	各実習中 カンファレンス時	観察記録
(9)	形成的評価	知識・技能・態度	健康教室中	観察記録
(10)	形成的評価	知識・技能	実習中	観察記録
(11)	形成的評価	知識・技能・態度	実習中	観察記録
(12)	形成的評価	技能	実習中	観察記録
(13)	形成的評価	技能・態度	実習中	観察記録

5. 研修スケジュール

第1週目

	午前	午後	夕方	夜
月	オリエンテーション	ミニレクチャー	リハビリ カンファレンス	歓迎会
火	外来実習	巡回診療、訪問 診療、病棟実習	検討会	
水	胃カメラ実習	訪問看護 予防接種	ケアカンファレンス	院内 勉強会
木	デイサービス実習	病棟実習	検討会	
金	特養実習	巡回診療、 訪問診療	ケースカンファレンス、 検討会	

第2週目

	午前	午後	夕方	夜
月	外来実習	病棟実習	リハビリカンファレンス、 検討会	
火	乳児検診	外来実習	検討会	
水	胃カメラ実習	訪問診療・ 予防接種	検討会	地区 懇談会
木	機能回復訓練実習	外来実習	検討会	

金	特養実習	外来実習	グループホーム訪問診療、 ケースカンファレンス、 検討会	
土	休み			
日	日直（救急外来）	日直（救急外来）	当直（救急外来）	当直（救急外来）

第3週目

	午前	午後	夕方	夜
月	日当直明け休み			
火	外来実習	巡回診療、 訪問診療	検討会	夜間 診療
水	胃カメラ実習	訪問看護 予防接種	ケアカンファレンス 検討会	院内 勉強会
木	デイサービス実習	外来実習	検討会	
金	特養実習	巡回診療、 訪問診療	ケースカンファレンス、 検討会	

第4週目

	午前	午後	夕方	夜
月	外来実習	病棟実習	リハビリカンファレンス、 検討会	
火	外来実習	健康教室	検討会	
水	生活習慣病健診	訪問診療 予防接種	検討会	夜間 当直
木	機能回復訓練	当直明け休み		
金	特養実習	実習全体のまとめ 検討会		

6. 研修実施責任者および指導を行う者

むかわ町国民健康保険穂別診療所

所長 夏目 寿彦

第二十一章 地域医療プログラム

1. 臨床研修協力施設の名称 日高町立門別国民健康保険病院

2. 目標 (GIO : General Instructional Objectives)
研修医が将来の診療や連携に役立てることができるようになるために、地域におけるプライマリー・ケア、保健・福祉との連携、チーム医療を経験し、患者さんを全人格的にみるための知識・技能・態度を身につける。

3. 行動目標 (SBOs : Special Behavioral Objectives)
 - (1)日高町の人口統計や地勢の概要を説明できる。
町内施設の見学、統計資料を用いた学習。
 - (2)日高町立門別国民健康保険病院および保健・福祉センターの組織の概要と目的を説明できる。
町内施設の見学、統計資料を用いた学習。
 - (3)地域におけるかかりつけ医の役割、プライマリー・ケアの大切さを説明できる。
各種資料を用いたミニレクチャー
 - (4)介護保険について概要を理解し、主治医意見書を作成できる。
各種資料を用いたミニレクチャー
医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討
 - (5) チーム医療、各職種との連携のため良好なコミュニケーションがとれる。
医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討
 - (6)地域の医療・福祉資源をよく理解し、問題解決のため各期間と相談、協力ができる。
医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討
 - (7) 全人的医療について理解し、実践できる。
医師、理学療法士、ケアマネージャーとの症例検討
各種資料を用いたミニレクチャー
 - (8)慢性疾患の外来管理を指導医のもと実践できる。
担当医師と外来診療に参加
 - (9)健康維持に大切な患者教育（食生活、運動、禁煙）が行える。
保健師とともに各種健康教室に参加
 - (10)各種予防接種について理解し、実践できる。
担当医師と予防接種外来に参加
 - (11)在宅医療を指導医のもと実践できる

担当医師、訪問看護師と在宅医療に参加

(12)健診業務を実践できる。

担当医師、保健師と健診業務に参加

(13)介護施設の活動に参加し、経験を具体的に述べることができる。

担当医師と特養回診に参加

4. 研修評価

行動目標	目的	内容	評価時期	評価方法
(1)(2)	形成的評価	知識	オリエンテーション 終了後	口頭試問
(3)(4)	形成的評価	知識	ミニレクチャー終了後	口頭試問
(4)	形成的評価	知識・技能	研修中	意見書を 記載
(5)(6)	形成的評価	技能・態度	各実習中 カンファレンス時	観察記録
(7)(8)	形成的評価	知識・技能・態度	各実習中 カンファレンス時	観察記録
(9)	形成的評価	知識・技能・態度	健康教室中	観察記録
(10)	形成的評価	知識・技能	実習中	観察記録
(11)	形成的評価	知識・技能・態度	実習中	観察記録
(12)	形成的評価	技能	実習中	観察記録
(13)	形成的評価	技能・態度	実習中	観察記録

5. 研修スケジュール

	午前	午後	夕方～夜
月	胃カメラ実習 病棟実習	老人ホーム診察 各種健診	
火	訪問診療	訪問診療	各種勉強会
水	胃カメラ実習 病棟実習	訪問看護 各種健診 療養リハビリカンファ	
木	訪問診療	一般リハビリカンファ 訪問診療	訪問連絡会議
金	訪問リハビリ 訪問薬剤管理指導	病棟実習	

6. 研修実施責任者および指導を行う者

日高町立門別国民健康保険病院

院長 大友 透